

第 29 回基礎及び最新の分析化学講習会

ー現場での分析化学最前線ー

実用高分子・有機・無機材料の分析に携わっている方や企業において分析化学業務に従事されている方を講師陣に招き、基礎から事例紹介やノウハウ・コツまで紹介して頂きます。

日 時：2019 年 12 月 10 日（火）9:50-16:50（17:00-18:30 に交流会を開催）

場 所：中部大学 名古屋キャンパス 6 階ホール [名古屋市中区千代田 5-14-22]

（JR 中央本線「鶴舞」駅名大病院口（北口）下車すぐ、地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約 100 メートル）

プログラム：

09:50-10:50 分解反応を利用する不溶性架橋高分子の分析 大谷 肇（名古屋工業大学）

"有機アルカリ試薬を用いる反応熱分解 GC-MS や超臨界メタノール分解を組み合わせたマトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析法を用いて、不溶性架橋高分子の精密組成分析、重合反応率の解析、及び架橋ネットワーク構造解析などを行う手法について、事例を紹介しながら解説します。"

11:00-12:00 質量分析を用いた微生物分類について 角出 泰造（メニコン）

"マトリックス支援レーザー脱離イオン化ー質量分析計（MALDI-MS）を用いて微生物を分類する手法について、従来の方法との比較、長所と短所を踏まえてお話しさせていただきます。また、具体的な測定事例についても供覧します。"

13:00-13:30 定性分析において試料汚染が分析結果に与える影響 山田 麻紀（ユニケミー）

"生産性向上やトラブル解決等、材料分析のニーズは増えています。その調査の際、先ず実施される定性分析において、試料汚染が分析結果に与える影響について紹介します。また、弊社の分析機器等を簡単にご紹介します。"

13:30-14:00 PFOS/PFOA（難分解性有機フッ素化合物界面活性剤）に関する分析事例

小笠原 英城（東海テクノ）

"水試料や製品試料に含有している PFOS/PFOA の濃度は LC/MS/MS を用いて測定されます。分析試料の採取から前処理、機器分析について、それぞれの操作方法及び留意点とその対策など、分析事例を交えて紹介します。"

14:05-14:35 LC によるポリマー分析

香川 信之（東ソー分析センター）

"最近、共重合体において、平均の共重合組成だけでなく、組成分布も性能に影響を及ぼすことが明らかとなり、その分析が重要となっています。そこで今回は、LC を用いたポリマーの組成分布分析法について説明します。"

14:40-15:40 自動車用有機材料の分析 ー 課題解決のアプローチ方法 ー

須藤 栄一（豊田中央研究所）

"自動車用有機材料の分析事例（付着物、変色等）を述べるとともに、原因究明、メカニズム解析、対策を行うまでのアプローチ方法を紹介します。"

15:50-16:50 法化学分析における多変量解析の適用

奥山 修司（愛知県警察本部）

"重回帰分析、クラスター分析及び主成分分析等の多変量解析法の基本概念と、工業製品のメーカー間のグループ化や異同識別、複数のデータを併用した定量分析等、法化学分野での多変量解析法の適用について説明します。"

交流会： 17:00-18:30 に同会場にて開催します（参加費 3,000 円）。

主 催： 公益社団法人日本分析化学会中部支部

共 催： 中部大学 応用生物学部・工学部

協 賛： 日本分析化学会高分子分析研究懇談会，日本金属学会東海支部，日本鉄鋼協会東海支部，日本化学会東海支部，化学工学会東海支部，高分子学会東海支部，色材協会中部支部，触媒学会西日本支部，繊維学会東海支部，電気化学会東海支部，日本原子力学会中部支部，日本ゴム協会東海支部，日本接着学会中部支部，日本セラミックス協会東海支部，日本繊維機械学会東海支部，日本農芸化学会中部支部，日本防錆技術協会中部支部，日本薬学会東海支部，日本油化学会東海支部，表面技術協会中部支部，有機合成化学協会東海支部，東海化学工業会，愛知工研協会，東海無機分析化学研究会

参 加 費：

分析化学会会員・共催（一般）	6,000 円
協賛学協会会員（一般）	7,000 円
非会員（一般）	10,000 円
主催・共催・協賛学協会（学生）	1,000 円
非会員（学生）	2,000 円
交流会参加費	3,000 円

申込方法：日本分析化学会中部支部のホームページ（<http://www.jsac.or.jp/~chubu/>）に掲載されている申込用のエクセルファイルデータをダウンロードし、必要事項をご記入の上、E-mail にて yishida@isc.chubu.ac.jp 宛に送信ください。おって入金方法（ゆうちょ銀行への振込です）をお知らせ致します。

申込締切：11 月 22 日（金）申込多数の場合はこれ以前に締切ることがあります。

申込・問合先：中部大学 応用生物学部 応用生物化学科 石田 康行

E-mail: yishida@isc.chubu.ac.jp 電話 0568-51-6324

「愛知地区講演会 -現場での分析化学最前線-」

* 講習会に連動した講演会を前日 12/9 に同会場にて開催します。こちらも是非ご参加下さい。

主 催：日本分析化学会中部支部

日 時：2019 年 12 月 9 日(月) 13 時 20 分～16 時 40 分

会 場：中部大学名古屋キャンパス 6 階 610 講義室

参加費：無料（事前の申し込みも不要です）

講 演：

1. イオンモビリティー高分解能質量分析法を用いた合成高分子の分析

（名古屋工業大学）北川 慎也

2. 電子顕微鏡で観るミクロの世界 ～液体から固体まで～（カネカテクノリサーチ）藤本 亜由美

3. 機能性部材の問題解決に向けた総合分析

（東レリサーチセンター）佐藤 信之